

3月11日から8ヶ月を迎える、被災地では初めての冬を迎えました。

大切なものを失ってしまった人々の心に東北の厳しい寒さは、さぞこたえることでしょう。

搬送します！ 暖房器具

—今回も搬送はカシックス様がボランティアでお引き受けくださいました—

学院祭・第2回オープンスクール・SEELフェアなどの学院関係イベントでは、皆さんに、たくさんのバンダナをお買いあげいただきました。本当にありがとうございました。

また、高校生徒会からは模擬店の売上金116,884円を実行委員会にお寄せいただきました。

その他、他校の先生方の研修会や、高校生の人権フォーラムで、活動を発表する機会が与えられ、その会場でもバンダナを販売してきました。その結果、たくさんの暖房器具を購入することができました。

石油ストーブ<ポンプ、タンク付き>14台
ホットカーペット4 こたつセット<布団付き>10セット ファンヒーター 2
オイルヒーター 1 冬用衣類・ブーツ類



応援の輪を広げよう

私たち実行委員会は、1000年に1度と言われる東日本の震災被害の復興と、福島原発事故とともにう復興は、何十年という歳月を費やすことであろうと思っています。だから、一人でも多くの人に支援活動の方法にはいろいろな方法があることを知っていただるために私たちの活動を知りたいと言つてきてくれるところに足を運んで報告しています。

ニュージーランド修学旅行でも…交流校や、バスのガイドさんたちにもバンダナを差し上げ活動を紹介してきました。

応援の輪を大きくしていくために、まだまだ実行委員になってくれる人を求めています。

母に縫い物を
教わりました
連れ合いには辛抱を
教わりました
仲は詩を書くことを
教えてくれました
何んな私は
何んな私は
役に立ちました

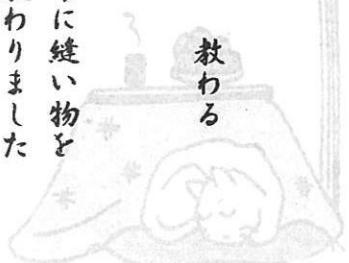
そして今

人生の終わりに
人生のやさしさを
震災で教わったので
す

生きていてよかったです

百歳の詩人、
柴田トヨさん

詩集より



気仙沼からの便り

先日、一報レ025が届きました。ハヌナの次は、クヌヌ
モドルアリをして下さっているんですね。東北の冬のため
にと動いて下さり、ありがとうございます。

仮設住宅にもいろいろあるようです。磯町の岩真
陸前高田市では、二重窓に玄関ヨ二重扉になつて
おり、仮設の外壁のまわりに断熱材のコアティックが
あるようです。気仙沼市は防寒装備はされておらず、
この違ははどうで発生したかわかりません。緊急用レ
伍の住いなので統一させたのは難しかったかも知れません。
この現状に今後どう対応していくかまだ気仙沼市からは
公表されていません。

朗報です。宮城県気仙沼高等学校の平成23年度
修学旅行は行きは新幹線、帰りは飛行機で行ける
ことにになりました。これは大阪府から8月1日付けて、
東日本大震災の被災地の高校に対して、修学旅行経
費の補助を行ったとの通知があり、早速申請いたしました。
8月引日付けて本校を全額補助の対象校とすること回
答がありました。

9月26日付、文書案内にて学校より、2学年保護者宛
てに連絡を頂きました。今まで積み立ててきた旅行費に
多分、修学旅行でのおこづかいによるのではないかと思そ
ます。保護者のみなさんはどんな形になつにとても修学
旅行は、全員行かせてやりたいと思っていて、おまけに喜
んでいるとか、また気仙沼高校の先生方も今まで
相当のご苦労を日々教育の中でされてると思っております
ところが、苦労をされてもこれで癒されるのではないかと思ひます。

のようは、本当に日本各地からのご支援、や応援の
声に心から感謝して、うな次第です。

1100年に一度の大震災が起きた大津波は一瞬にして
東北の暮らしを激変させました。命を奪い、物を破壊し、
多くの影響を与えた、心の奥深くまで傷つけました。
市民が日々立ち直りたい一心で、今日まで来れました。
復興を一度は諦めいや、もう一度、始めてみようと
思えたとき気持ちを持てたのは、もちろん家族愛
であり、郷土愛であり、そして、全國からの掛け合いで
応援しようと人々が伝わって、これからと頑張ります。

ありがとうございます。

こう言葉いか言えます。

今まで頑張って下さって、本当にありがとうございます。

平成23年十月十日。

